

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	小児期好酸球性消化管疾患における非侵襲的バイオマーカーの検討 [倫理審査受付番号：第 4338 号]
研究責任者氏名	奥田真珠美
研究機関長名	兵庫医科大学長 野口 光一
研究期間	2023 年 2 月 28 日 ~ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんが研究対象となります。
	疾患名：小児好酸球性消化管疾患 (Eosinophilic gastrointestinal disorders: EGID) / 診療科名等：小児科
	受診日：西暦 2019 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 1 月 24 日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 カルテ情報 アンケート その他 ()
	取得の方法： 診療の過程で取得 その他 ()
研究目的・意義	小児期好酸球性消化管疾患 (Eosinophilic gastrointestinal disorders: EGID) は、小児期の原因として食事によるものが多く、速やかに適切な食事療法を開始することが不可欠です。診断・治療効果判定には内視鏡生検で腸管内の好酸球の浸潤の状態を評価する必要がありますが、内視鏡検査は小児に対して侵襲が高いということが問題になっています。本研究の目的は、好酸球関連蛋白の末梢血における発現レベルが本疾患の非侵襲的バイオマーカーとなる可能性を追究することです。本研究の成果は、確定診断がつかずに不適切な治療が行われている多くの好酸球性消化管疾患小児に対する、新たな治療戦略を見出す可能性があります。
研究の方法	兵庫医科大学小児科の消化器外来を受診された5歳以上の患者様で、現在または過去にEGIDと診断された方・EGIDが疑われる方が対象となります。この研究では、血中好酸球カオチン性蛋白質 (ECP)、好酸球由来神経毒 (EDP)、galectin-10 (GAL-10)、可溶性 Siglec-8 などのバイオマーカーの測定を行い、これらの蛋白の発現レベルを経時的に解析し、内視鏡所見・臨床症状との関連を明らかにすることにより、非侵襲的バイオマーカーとしての有用性を検証します。

個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：小児科 担当者氏名：奥田 真珠美 [電話]（平日 9～17 時）0798 - 45 - 6351